



新潟県

NEW

県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第165号 令和4年7月 病院局発行

塚田前新発田病院長と秋山前加茂病院長に 名誉院長の称号が発令されました。

県立病院における永年の功績が顕著であったとして、令和3年度末で県立病院を退職された塚田芳久 前新発田病院長及び秋山修宏 前加茂病院長に名誉院長の称号が発令されました。今号はお二人のご功績について紹介します。

塚田先生の御紹介

塚田先生は、平成7年に新発田病院の内科部長になられたのち、平成17年から十日町病院院長、平成28年から新発田病院院長兼同附属看護専門学校長として勤務され、令和2年からは十日町看護専門学校長も兼任されました。

県立病院の院長としては通算17年間ご活躍されました。

十日町病院院長時代は十日町病院の改築開始や魚沼基幹病院の開設と、魚沼地域が持続可能な医療提供体制の構築に向けて大きく変化する激動期に、地域の中核病院の院長として職責を担われました。



▲山崎病院局長（右）から発令書を授与された塚田先生(左)



▲臨床研修医を指導される塚田先生(奥)

新発田病院院長時代には広域基幹病院の院長として、今後激変が予想される医療環境に対応するため、下越医療圏と新潟医療圏の一部が参加する北部地域医療機関管理者協議会を立ち上げられるなど、下越医療圏の将来に向けた取組を推進されました。

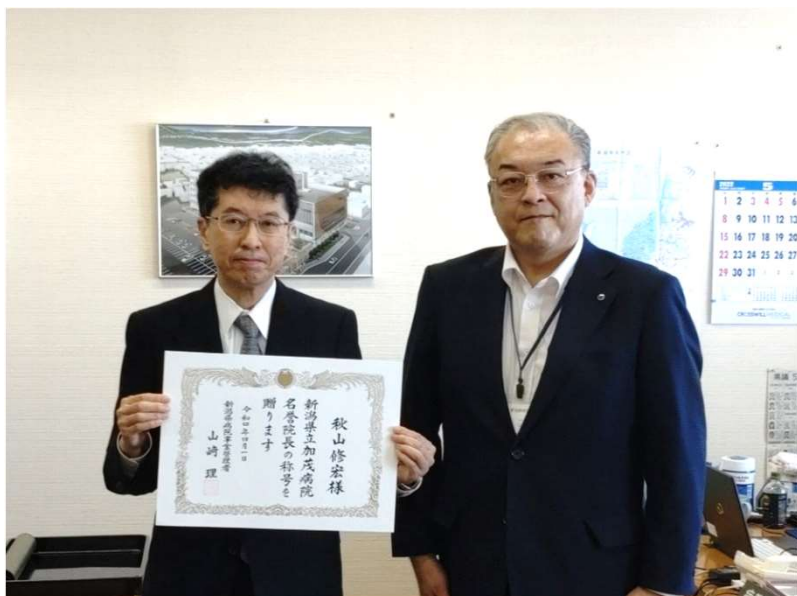
新型コロナウイルス感染症が流行の兆しを見せ始めると患者の受入れ体制の整備や本県のコロナ対策への助言をされるなど、新型コロナウイルス感染症対策に尽力されました。

また、新発田病院教育研修センターの立ち上げによる研修医指導の体制強化や、看護専門学校長を勤められるなど、将来を担う医師・看護職員の育成にも力を注がれました。

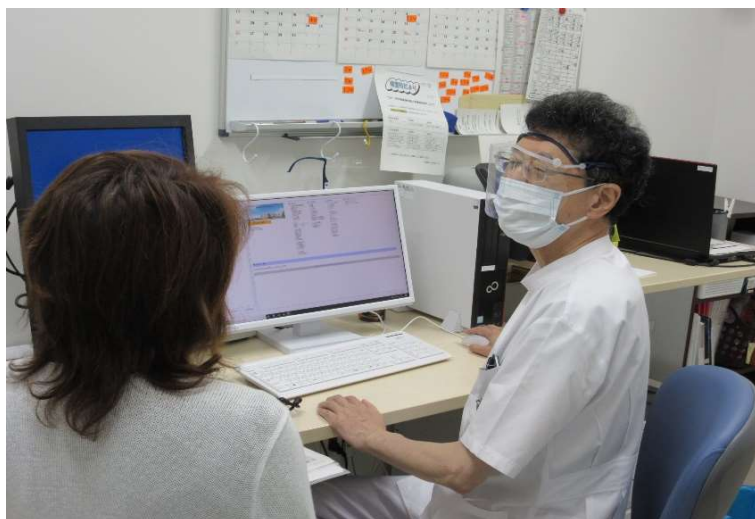
秋山先生の御紹介

秋山先生は、平成11年にがんセンター新潟病院内科部長になられたのち、平成20年からは十日町病院副院長、平成23年からは加茂病院副院長を勤められ、平成27年4月から7年間加茂病院院長としてご活躍されました。

加茂病院の改築に副院長時代から関わり、令和元年9月の新病院移転の際の緩和ケア病棟開設に貢献されました。そして県央地域医療圏で緩和ケア病棟を有する唯一の病院として周辺地域の病院と連携を行いながら緩和ケア医療を提供できるよう、リーダーシップを発揮されました。



▲山崎病院局長（右）から発令書を授けられた秋山先生（左）



▲診療中の秋山先生

県央地域の医療再編の中で、加茂病院の役割は地域密着型病院と位置付けられたため、従来の急性期中心の病院から、慢性疾患を持つ高齢者の入院診療・重症化予防や、在宅復帰・療養支援のための入院機能を担える病院になるべく尽力されました。

また、新型コロナウイルス感染症対策について、空きベッドを最大限活用して患者の受け入れを行いつつ、院内感染対策を徹底されるなど、新型コロナウイルス感染症対応と通常の診療行為の両立に尽力されました。



【編集後記】

塚田先生、秋山先生、名誉院長の発令おめでとうございます。長年、県立病院の安全・安心な医療の提供にご貢献いただき、また職員へのご指導等ありがとうございました。先生方のレガシーを大切に、次の世代に先生方の思いを引き継げるよう頑張ります。

マイナンバーカードを取得しましょう！

国は令和4年度末までに、マイナンバーカードがほぼ国民に行き渡ることを目指しています。（「デジタル社会の実現に向けた重点計画」（令和4年6月7日閣議決定））

しかし、本県のカードの交付率は令和4年6月1日現在で38.09%と全国順位では44位となっています。

令和3年10月から健康保険証としての利用できるようになり、運転免許証との一体化も令和6年度末までに予定されています。

マイナポイント第2弾もスタートしており、最大20,000円分のポイントが受け取れますので、この機会にご家族も含め、ぜひマイナンバーカードを取得しましょう！



▼▼マイナンバーカード総合サイト▼▼
<https://www.kojinbango-card.go.jp/>

お問い合わせ先：病院局総務課総務係（TEL.025-280-5552）